

# 第5回中丹管内二級河川流域治水協議会を開催しました

流域治水の推進に向け、河辺川、朝来川、志楽川、祖母谷川、与保呂川、福井川水系の流域治水プロジェクトを策定しました。また、昨年度策定の伊佐津川、高野川水系の流域治水プロジェクトについて、フォローアップを実施しました。

## ○開催概要

日時	令和4年11月10日（木） 14:00～15:00
開催形式	Web開催（Zoom）
議題	（1）流域治水プロジェクトの策定・公表について （2）今後の進め方について

## ○出席者と主な意見

### （舞鶴市 岸本危機管理監(代理出席)）

舞鶴市の東部には、多くの河川が流れ込んでおり、近年、災害等は起きていないが、大雨と高潮が重なると体制を整えていた場合でも、浸水被害が発生するため、市としても引き続き対応を続けていく。

### （綾部市 仲井建設課長(代理出席)）

河川管理者が行う河川整備に加え、流域関係者を含めた治水対策を行う流域治水は効果的と考えている。各関係機関の様々な取組事例を参考に、本市での対策・取組についても検討していきたい。

### （京都府中丹広域振興局地域連携・振興部

#### 船越総務防災課長(代理出席)

避難行動タイムラインは作成が目的ではなく、作成することで地域全体で協働し、避難していただくといった方向に気運が高まれば良いと考えている。このような趣旨を理解したうえで、各地域において少しでも防災意識が高まるよう、各市町等には協力をお願いしたい。

### （京都府中丹広域振興局農林商工部 岡田部長）

ため池及び農業用水路の整備や森林整備、治山ダムなどのハード整備に加え、ため池ハザードマップの作成や「ため池点検野帳」による点検（中丹独自の取組）、治山ダムの見学会などのソフト対策を実施しながら、関係機関と連携し、地域で一体となった流域治水の推進に取り組んでいきたい。

### （京都府中丹広域振興局建設部 西村部長）

河川管理者として、河川のハード整備を進めることが責務と考えている。ハード整備を進めるには、一定の期間が必要なため、その間の予算等の確保に引き続き尽力していきたい。

### （京都府港湾局 村田港湾企画課長(代理出席)）

港湾が、各河川の末端であり、豪雨等の影響による土砂の堆積を危惧している。そのため、引き続き土木事務所と連携し、可能な限り浚渫を実施して参りたい。

### （京都府水産事務所 井谷所長）

水産事務所では、舞鶴漁港の浚渫等に取り組んでおり、漁港の維持管理として引き続き浚渫等実施していく。

### （国立研究開発法人 森林研究・整備機構

#### 森林整備センター近畿北陸整備局 佐々木局長）

例年、京都府内で新たな事業を実施しているところで、今後も中丹管内で候補地があれば、実施して参りたい。また、新たな事業についても取り組んで参りたいと考えているため、機会があれば紹介したい。

### （京都府建設交通部 濱田部長）

被害軽減のためには、ソフト・ハード一体となった対策が必要。また、ソフト対策に積極的に取り組む地域に対して、ハード整備支援を重点化するという考えに基づき予算配分される傾向があることを踏まえ、ソフト対策も含めた地域の安全の確保に今後も連携して取り組んで参りたい。



協議会の様子

